

■ 平成19年度版～平成20年度版の改訂概要

平成19年度版				平成20年度版(太字:変更箇所)				変更内容	該当体系ツリー		
掲載頁	旧細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位	掲載頁	新細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位		(レベル1)	(レベル2)	(レベル3)
70	鋼矢板	枚	枚	70	鋼矢板	枚	枚	歩掛改訂により ①.【用語の定義】の記載の見直しにより下記の通り変更 「鋼矢板の打込作業で、以下の費用を含む。」 ↓ 「鋼矢板の打込(圧入)・引抜作業で、以下の費用を含む。」 ②.【用語の定義】の費用項目の追加及び変更 「鋼矢板打込費」→「鋼矢板打込・引抜費」(変更) <b>「鋼矢板圧入・引抜費」(追加)</b> <b>「油圧式杭圧入・引抜機据付・解体費」(追加)</b> ③.【備考】の記載の見直しにより下記の通り変更 「打込費には、鋼矢板の材料費を含む。」 ↓ 「打込(圧入)費には、鋼矢板の材料費を含む。」	築堤・護岸 築堤・護岸 樋門・樋管 水門 堰 堰 排水機場 排水機場 排水機場 床止め・床固め 堤防・護岸 突堤・人工岬 斜面対策 橋梁下部 橋梁下部 各工種共通	護岸基礎工 矢板護岸工 樋門・樋管本体工 水門本体工 可動堰本体工 固定堰本体工 機場本体工 沈砂池工 吐出水槽工 床止め工 護岸基礎工 突堤本体工 地下水遮断工 護岸基礎工 矢板護岸工 仮設工	矢板工 矢板工 矢板工 矢板工(遮水矢板) 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 土留・仮締切工
73	広幅鋼矢板	枚	枚	73	広幅鋼矢板	枚	枚	歩掛改訂により ①.【用語の定義】の記載の見直しにより下記の通り変更 「広幅鋼矢板の打込作業で、以下の費用を含む。」 ↓ 「広幅鋼矢板の打込(圧入)・引抜作業で、以下の費用を含む。」 ②.【用語の定義】の費用項目の追加及び変更 <b>「敷鉄板設置・撤去費」(追加)</b> 「広幅鋼矢板打込費」→「広幅鋼矢板打込・引抜費」(変更) <b>「広幅鋼矢板圧入・引抜費」(追加)</b> <b>「繼施工費」(追加)</b> <b>「油圧式杭圧入・引抜機据付・解体費」(追加)</b> ③.【備考】の記載の見直しにより下記の通り変更 「打込費には、広幅鋼矢板の材料費を含む。」 ↓ 「打込(圧入)費には、広幅鋼矢板の材料費を含む。」	築堤・護岸 築堤・護岸 樋門・樋管 水門 堰 堰 排水機場 排水機場 排水機場 床止め・床固め 堤防・護岸 突堤・人工岬 斜面対策 橋梁下部 橋梁下部 各工種共通	護岸基礎工 矢板護岸工 樋門・樋管本体工 水門本体工 可動堰本体工 固定堰本体工 機場本体工 沈砂池工 吐出水槽工 床止め工 護岸基礎工 突堤本体工 地下水遮断工 護岸基礎工 矢板護岸工 仮設工	矢板工 矢板工 矢板工 矢板工(遮水矢板) 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 矢板工 土留・仮締切工



■ 平成19年度版～平成20年度版の改訂概要

平成19年度版				平成20年度版(太字:変更箇所)				変更内容	該当体系ツリー		
掲載頁	旧細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位	掲載頁	新細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位		(レベル1)	(レベル2)	(レベル3)
95	頂版結合	t	t	95	頂版結合(プレートブラケット)	t	t	体系ツリーにおける名称・単位の改訂による変更 ①.【用語の定義】の記載を下記の通り変更 「荷重を井筒基礎に伝達するために行う、頂版コンクリートと鋼管との結合作業で、以下の費用を含む。」 ↓ 「荷重を井筒基礎に伝達するために行う、頂版コンクリートと鋼管との <b>プレートブラケット方式</b> による結合作業で、以下の費用を含む。」 ②. 体系ツリーの変更	橋梁下部 橋梁下部	RC橋脚工 鋼製橋脚工	鋼管矢板基礎工 鋼管矢板基礎工
				96	頂版結合(鉄筋スット)	段	段	体系ツリーにおける名称・単位の改訂による変更 ①.【用語の定義】の記載を下記の通り変更 「荷重を井筒基礎に伝達するために行う、頂版コンクリートと鋼管との結合作業で、以下の費用を含む。」 ↓ 「荷重を井筒基礎に伝達するために行う、頂版コンクリートと鋼管との <b>鉄筋スット方式</b> による結合作業で、以下の費用を含む。」 ②. 図の変更 ③. 体系ツリーの変更	橋梁下部 橋梁下部	RC橋脚工 鋼製橋脚工	鋼管矢板基礎工 鋼管矢板基礎工
141	蓋<単位:枚>	枚	枚	142	蓋<単位:枚>	枚	枚	体系ツリーにおける名称・単位の改訂による変更 ①.【用語の定義】の記載を下記の通り変更 「集水桝、点検施設等の蓋の設置作業で、以下の費用を含む。」 ↓ 「集水桝、点検施設、 <b>地下駐車場・共同溝の付属設備</b> 等の蓋の設置作業で、以下の費用を含む。」 ②. 体系ツリーの変更	築堤・護岸 樋門・樋管 樋門・樋管 水門 堰 河川修繕 堤防・護岸 堤防・護岸 砂防堰堤 斜面对策 斜面对策 道路改良 舗装 地下駐車場 共同溝 道路維持 道路修繕	付帯道路工 水路工 付属物設置工 付属物設置工 付属物設置工 管理用通路工 排水構造物工 付帯道路工 付帯道路工 山腹水路工 斜面对策付属物設置工 排水構造物工 排水構造物工 付属設備工 付属設備工 排水構造物工 排水構造物工	集水桝工 集水桝工 点検施設工 点検施設工 点検施設工 排水構造物工 集水桝工 集水桝工 集水桝工 集水桝工 点検施設工 集水桝・マンホール工 集水桝・マンホール工 設備工 設備工 集水桝・マンホール工 集水桝・マンホール工
168	支柱<単位:箇所>	箇所	箇所	-	-	-	-	体系ツリーにおける名称・単位の改訂による統合のための廃止 統合先:支柱<単位:本>	舗装 道路修繕	道路植栽工 道路植栽工	道路植栽工 道路植栽工
223	土運船運搬	日	式 or 日	223	土運 <b>搬</b> 船運搬	日	式 or 日	体系ツリーにおける名称・単位の改訂による変更 ①. 細別名称を下記の通り変更 「土運船運搬」→「土運 <b>搬</b> 船運搬」 ②.【用語の定義】の記載を下記の通り変更 「 <b>浚渫土</b> の船による土運船の運転作業で、以下の費用を含む。」 ↓ 「 <b>浚渫土</b> の船による土運 <b>搬</b> 船の運転作業で、以下の費用を含む。」 ③.【用語の定義】の費用項目の変更 「土運船運搬費」→「土運 <b>搬</b> 船運搬費」 ④. 体系ツリーの変更	浚渫(河川) 浚渫(河川) 浚渫(海岸)	浚渫工(グラブ船) 浚渫工(バックホウ浚渫船) 浚渫工(グラブ船)	作業船運転工 作業船運転工 作業船運転工

■ 平成19年度版～平成20年度版の改訂概要

平成19年度版				平成20年度版(太字:変更箇所)				変更内容	該当体系ツリー		
掲載頁	旧細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位	掲載頁	新細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位		(レベル1)	(レベル2)	(レベル3)
238	山腹U型側溝	m	m	238	山腹U型側溝	m	m	歩掛改訂により ①. 【用語の定義】における下記の費用項目の削除 「表面コンクリート打設費」、「吸出し防止材」、「遮水シート設置費」 ②. 図の変更	斜面対策	山腹水路工	山腹集水路・排水路工
239	山腹コルゲートリウム	m	m	238	山腹コルゲートリウム	m	m	歩掛改訂により ①. 【用語の定義】における下記の費用項目の削除 「表面コンクリート打設費」、「吸出し防止材」、「遮水・止水シート設置費」 ②. 図の削除 ③. 図の削除に伴い、【備考】に下記の通り記載 「山腹コルゲートリウム」の参考図については、「山腹U型側溝」を参照する。	斜面対策	山腹水路工	山腹集水路・排水路工
240	U型側溝明暗渠	m	m	239	<b>山腹</b> U型側溝明暗渠	m	m	歩掛改訂により ①. 細別名称を下記の通り変更 「U型側溝明暗渠」→「 <b>山腹</b> U型側溝明暗渠」 ②. 【用語の定義】における費用項目の追加及び削除 「 <b>フィルター材設置費</b> 」(追加) 「表面コンクリート打設費」(削除) ③. 図の変更及び出典先を下記の通り変更 「河川砂防技術基準(案)設計編Ⅱ」→「土木工事標準積算基準書」 ④. 体系ツリーの変更	斜面対策	山腹水路工	山腹明暗渠工
240	コルゲートリウム明暗渠	m	m	240	<b>山腹</b> コルゲートリウム明暗渠	m	m	歩掛改訂により ①. 細別名称を下記の通り変更 「コルゲートリウム明暗渠」→「 <b>山腹</b> コルゲートリウム明暗渠」 ②. 【用語の定義】における下記の費用項目の追加及び削除 「 <b>フィルター材設置費</b> 」(追加) 「表面コンクリート打設費」(削除) ③. 【備考】に下記の通り記載 「山腹コルゲートリウム明暗渠」の参考図については、「 <b>山腹U型側溝明暗渠</b> 」を参照する。 ④. 体系ツリーの変更	斜面対策	山腹水路工	山腹明暗渠工
241	山腹暗渠	m	m	240	山腹暗渠	m	m	歩掛改訂により ①. 【用語の定義】における下記の費用項目の追加 「 <b>フィルター材設置費</b> 」 ②. 図の変更	斜面対策	山腹水路工	山腹暗渠工
283	ゴム製伸縮装置	m	m	282	<b>鋼</b> ・ゴム製伸縮装置	m	m	体系ツリーにおける名称・単位の改訂による変更 ①. 細別名称を下記の通り変更 「ゴム製伸縮装置」→「 <b>鋼</b> ・ゴム製伸縮装置」 ②. 【用語の定義】の記載を下記の通り変更 「橋梁に用いるゴム製伸縮装置の設置作業で、以下の費用を含む。」 ↓ 「橋梁に用いる <b>鋼</b> ・ゴム製伸縮装置の設置作業で、以下の費用を含む。」 ③. 体系ツリーの変更	水門 水門	橋梁付属物工(鋼管理橋) 橋梁付属物工(コンクリート管)	伸縮装置工 伸縮装置工 伸縮装置工 伸縮装置工 伸縮装置工 伸縮装置工 伸縮装置工

■ 平成19年度版～平成20年度版の改訂概要

平成19年度版				平成20年度版(太字:変更箇所)				変更内容	該当体系ツリー		
掲載頁	旧細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位	掲載頁	新細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位		(レベル1)	(レベル2)	(レベル3)
312	掘削・支保	m	m	311	掘削・支保	m	m	歩掛改訂により ①.【用語の定義】の記載を下記の通り変更 「トンネル(NATM)発破工法における、……」 ↓ 「トンネル(NATM)における、……」 ②.【備考】の削除 ③.体系ツリーの変更	トンネル(NATM) トンネル(NATM) トンネル(NATM) トンネル(NATM)	トンネル工(発破工法) トンネル工(機械掘削工法) トンネル工(坑口)DⅢパターン トンネル工(非常駐車帯工) トンネル工(小断面NATM)	掘削・支保工 掘削・支保工 掘削・支保工 掘削・支保工 掘削・支保工
313	覆工コンクリート・防水	m	m	312	覆工コンクリート・防水	m	m	歩掛改訂により ①.【用語の定義】の記載を下記の通り変更 「トンネル(NATM)発破工法における、……」 ↓ 「トンネル(NATM)における、……」 ②.体系ツリーの変更	トンネル(NATM) トンネル(NATM) トンネル(NATM) トンネル(NATM) トンネル(NATM)	トンネル工(発破工法) トンネル工(機械掘削工法) トンネル工(坑口)DⅢパターン トンネル工(非常駐車帯工) トンネル工(小断面NATM)	覆工・コンクリート防水工 覆工・コンクリート防水工 覆工・コンクリート防水工 覆工・コンクリート防水工 覆工・コンクリート防水工
313	トンネル掘削	m	m	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を廃止	トンネル(NATM)	トンネル掘削工	掘削工
314	吹付	m	m	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を廃止	トンネル(NATM)	支保工	吹付工
314	ロックボルト	m	m	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を廃止	トンネル(NATM)	支保工	ロックボルト
315	鋼製支保<単位:m>	m	m	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を廃止	トンネル(NATM)	支保工	鋼製支保工
315	金網	m	m	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を廃止	トンネル(NATM)	支保工	金網工
315	覆工コンクリート	m	m	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を廃止	トンネル(NATM)	覆工	覆工コンクリート工
316	覆工コンクリート(妻部)	箇所	箇所	312	覆工コンクリート(妻部)	箇所	箇所	歩掛改訂により ①.体系ツリーの変更	トンネル(NATM)	トンネル工(非常駐車帯工)	覆工・コンクリート防水工
316	補強鉄筋	t	t	312	補強鉄筋	t	t	歩掛改訂により ①.体系ツリーの変更	トンネル(NATM) トンネル(NATM) トンネル(NATM) トンネル(NATM) トンネル(NATM)	トンネル工(発破工法) トンネル工(機械掘削工法) トンネル工(坑口)DⅢパターン トンネル工(非常駐車帯工) 覆工	覆工・コンクリート防水工 覆工・コンクリート防水工 覆工・コンクリート防水工 覆工・コンクリート防水工 側壁コンクリート工
316	型枠(妻部)	m <sup>2</sup>	式 or m <sup>2</sup>	313	型枠(妻部)	m <sup>2</sup>	式 or m <sup>2</sup>	歩掛改訂により ①.体系ツリーの変更	トンネル(NATM)	トンネル工(非常駐車帯工)	覆工・コンクリート防水工
317	足場(妻部)	掛m <sup>2</sup>	式 or 掛m <sup>2</sup>	313	足場(妻部)	掛m <sup>2</sup>	式 or 掛m <sup>2</sup>	歩掛改訂により ①.体系ツリーの変更	トンネル(NATM)	トンネル工(非常駐車帯工)	覆工・コンクリート防水工
318	トンネル防水	m	m	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を廃止	トンネル(NATM)	覆工	トンネル防水
339	蓋<単位:組>	組	組	335	蓋<単位:組>	組	組	体系ツリーにおける名称・単位の改訂による変更 ①.【用語の定義】の記載を下記の通り変更。 「地下駐車場・共同溝の付属設備もしくは、電線共同溝の特殊部における蓋の設置作業で、以下の費用を含む。」 ↓ 「電線共同溝の特殊部における蓋の設置作業で、以下の費用を含む。」 ②.体系ツリーの変更	電線共同溝	電線共同溝工	プレキャストボックス工(特殊部)
351	ゴム製伸縮装置補修	m	m	347	<b>鋼</b> ・ゴム製伸縮装置補修	m	m	体系ツリーにおける名称・単位の改訂による変更 ①.細別名称を下記の通り変更 「ゴム製伸縮装置補修」→「 <b>鋼</b> ・ゴム製伸縮装置補修」 ②.【用語の定義】の記載を下記の通り変更。 「橋梁に用いるゴム製伸縮装置の設置作業で、以下の費用を含む。」 ↓ 「橋梁に用いる <b>鋼</b> ・ゴム製伸縮装置の設置作業で、以下の費用を含む。」 ③.体系ツリーの変更	道路維持 道路修繕	橋梁付属物工 橋梁付属物工	伸縮継手工 伸縮継手工

## ■ 平成19年度版～平成20年度版の改訂概要

平成19年度版				平成20年度版(太字:変更箇所)				変更内容	該当体系ツリー		
掲載頁	旧細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位	掲載頁	新細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位		(レベル1)	(レベル2)	(レベル3)
369	支柱<単位:本>	本	本	365	支柱	本	本	体系ツリーにおける名称・単位の改訂による変更 ①. 用語定義集用の名称変更 「支柱<単位:本>」→「支柱」 ③. 体系ツリーの変更	河川維持 斜面对策 道路改良 舗装 道路維持 道路修繕 道路修繕	植栽維持工 擁壁工 落石雪害防止工 道路植栽工 植栽維持工 道路植栽工 落石雪害防止工	樹木・芝生管理工 落石防護工 落石防護柵工 道路植栽工 樹木・芝生管理工 道路植栽工 落石防護柵工
384	落雪(せり出し)防護柵	m	m	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を廃止	道路維持	冬期対策施設工	冬期安全施設工
-	-	-	-	394	<b>コンクリート表面処理</b>	<b>m<sup>2</sup></b>	<b>m<sup>2</sup></b>	新規歩掛改訂により細別を新規追加	築堤・護岸 樋門・樋管 堤防・護岸 道路改良 道路維持 道路修繕	構造物撤去工 構造物撤去工 構造物撤去工 構造物撤去工 構造物撤去工 構造物撤去工	構造物取壊し工 構造物取壊し工 構造物取壊し工 構造物取壊し工 構造物取壊し工 構造物取壊し工
-	-	-	-	421	<b>足場&lt;単位:箇所&gt;</b>	<b>箇所</b>	<b>箇所</b>	体系ツリーにおける名称・単位の改訂による細別の新規追加	鋼橋上部 道路維持 道路修繕	歩道橋本体工 横断歩道橋工 横断歩道橋工	歩道橋架設工 横断歩道橋工 横断歩道橋工
477	品質証明費	式	式	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を廃止	共通仮設	共通仮設費	技術管理費